

北名古屋市の主要遺跡と遺跡の分布

縄文時代

堤下遺跡 【27】

市域北東部の段丘の末端に位置する縄文時代中期の遺跡。石囲炉、多量の土器、石器が発見されている。



石囲炉の検出状況

弥生時代

樋口遺跡／村前遺跡 【24/25】

市域北部、南流する五条川の左岸の自然堤防上に広がる遺跡群。棺として使用されたと考えられる弥生時代中期の土器をはじめ、弥生時代から古墳時代を中心とする遺物が発見されている。



土器棺（弥生時代中期）

弥生時代

弥勒寺御申塚遺跡 【11】

現在の西春高校周辺に広がる弥生時代後期から古墳時代を中心とする遺跡。溝状遺構から赤く塗られた土器やミニチュアの土器など、弥生時代後期を中心とする大量の土器が出土している。

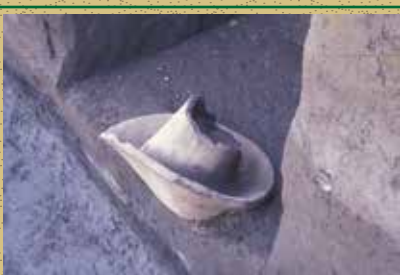


出土した土器群（弥生時代後期）

古墳時代

高塚古墳 【1】

5世紀前半に築造された直径約40mの造出し付円墳。造出し部周辺を中心に多彩な形象埴輪（家・盾・蓋・甲冑・冑・鶏・冑形等）が出土した。



冑形埴輪の出土状況

古墳時代

能田旭古墳 【41】

5世紀中葉に築造された全長約43mの帆立貝式古墳。円筒埴輪、人物・馬等の形象埴輪に加え、土の埴輪と同様に古墳に立て並べたと考えられる「木製立物」が出土している。



出土した「木製立物」

古墳時代

東出古墳 【35】

熊之庄地区の神明社境内で工事中に新たに発見された古墳。墳丘は完全に削平されており、規模や墳形は不明。出土した埴輪の特徴から6世紀に築造された古墳と推定される。



出土した円筒埴輪

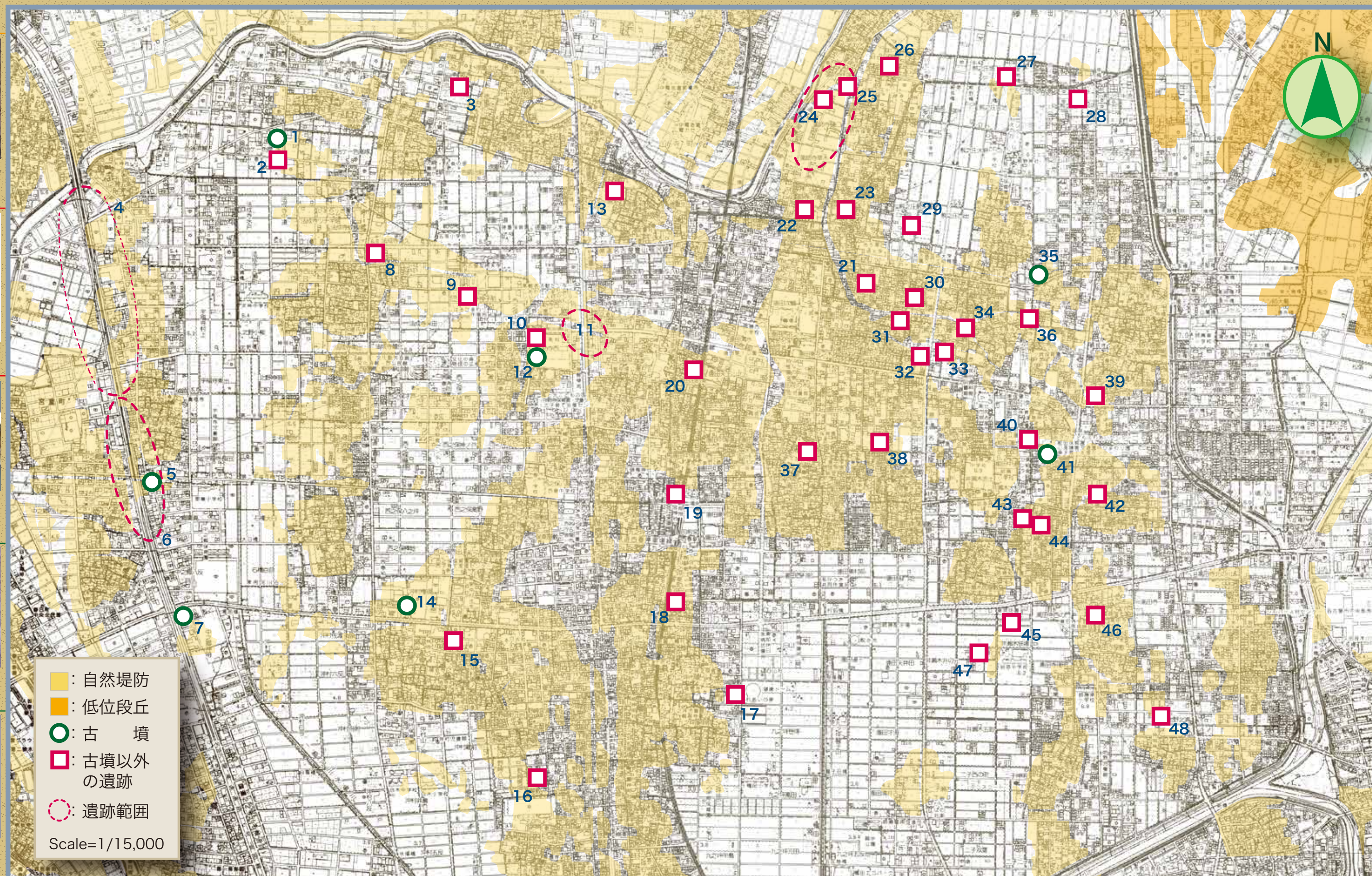
奈良・平安時代

弥勒寺廃寺 【10】

現在の西春高校周辺に存在した古代寺院。昭和37年に発掘調査が行われ、寺院の建物の基壇、塔の礎石などが確認された。出土した瓦などの遺物から、奈良時代前期に創建され、室町時代まで存続したことが明らかになっている。



弥勒寺廃寺の軒丸瓦



- 自然堤防
 - 低位段丘
 - 古墳
 - 古墳以外の遺跡
 - 遺跡範囲
- Scale=1/15,000

- | | | | | |
|-----------------|----------------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 1:高塚古墳 古 | 11:弥勒寺御申塚遺跡 弥 古 | 21:新宮遺跡 弥 ~ 奈平 | 31:石塚遺跡 古 ~ 中 | 41:能田旭古墳 古 |
| 2:高塚南遺跡 古 中 | 12:弥勒寺遺跡 (古山王古墳) 弥 古 | 22:山浦遺跡 弥 ~ 中 | 32:村上遺跡 奈平 中 | 42:六所遺跡 弥 |
| 3:鍛冶ケ一色遺跡 弥 ~ 中 | 13:徳重遺跡 古 | 23:古井遺跡 弥 ~ 奈平 | 33:山の神遺跡 中 | 43:五反地遺跡 古 |
| 4:宇福寺遺跡 古 | 14:権現古墳 古 | 24:樋口遺跡 弥 古 中 | 34:熊之庄遺跡 弥 | 44:井瀬木遺跡 弥 古 |
| 5:宇福寺古墳 古 | 15:沖城跡 中 | 25:村前遺跡 弥 古 | 35:東出古墳 古 | 45:郷前遺跡 弥 |
| 6:中之郷北遺跡 古 ~ 中 | 16:野崎城跡 弥 中 | 26:十二社遺跡 古 奈平 中 | 36:江川遺跡 古 中 | 46:高田寺遺跡 奈 |
| 7:神明社古墳 古 | 17:九之坪城跡 中 | 27:堤下遺跡 縄 | 37:仁昌寺遺跡 奈平 | 47:下の道遺跡 奈平 |
| 8:法成寺遺跡 弥 ~ 中 | 18:宮浦遺跡 奈平 中 | 28:六の坪遺跡 縄 | 38:鹿田遺跡 弥 中 | 48:久地野北浦遺跡 弥 ~ 中 |
| 9:神子前遺跡 弥 | 19:若宮遺跡 弥 | 29:射矢重遺跡 弥 | 39:牟都志神社遺跡 古 | |
| 10:弥勒寺廃寺 奈平 | 20:出町東遺跡 古 | 30:八幡西遺跡 弥 中 | 40:能田旭西遺跡 弥 古 中 | |

本地図のご利用について

本地図は、令和2年7月1日現在の情報に基づき作成されていますが、地図上の各遺跡の位置は代表的な地点を示したもので、正確な遺跡範囲を示すものではありません。また、分布調査や試掘調査等により、新たに遺跡が発見されたり、遺跡範囲が変更される場合もありますので、開発事業を計画される際は、遺跡の詳細について北名古屋市教育委員会【歴史民俗資料館：0568-25-3600】までご照会ください。